



F32b 壁掛金具 取扱説明書

----- 重量 36kg 以下の薄型テレビの取り付けに適用 -----

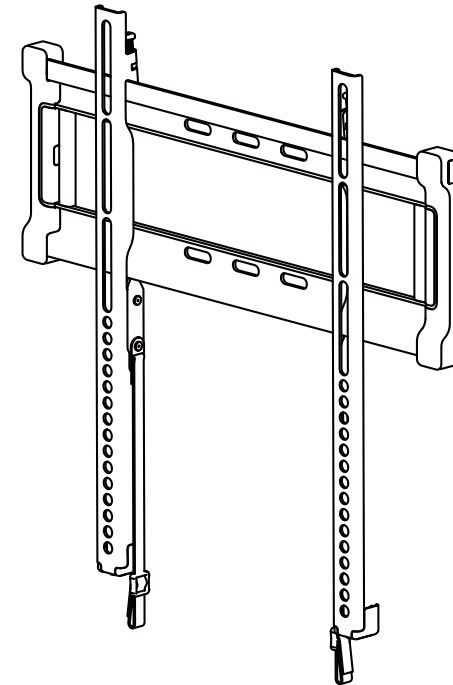
この度は、F32b の壁掛金具をお買い上げ頂きましてありがとうございます。
F32b は 32V 型～47V 型の薄型テレビの取付用です。
ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
お読みになったあとは大切に保存してください。

本製品をご利用になるお客様へ

本製品の取り付けには、特別な技術や確実な作業が必要となります。必ず、販売店や工事に依頼して、安全性に十分考慮して確実な取り付けを行って下さい。

販売店様・工事業者様へ

薄型テレビの取り付けには特別な技術が必要ですので、設置の際は取扱説明書をよくご覧の上、設置を行って下さい。取り付け不備や、取り扱い不備による事故や損傷については、当社では一切の責任を負いません。



(1)



Sanus Systems 輸入総代理店・発売元

NETWORK JAPAN

お問い合わせ・ご購入は、弊社正規販売店又は弊社営業窓口へ

〒559-0031 大阪市住之江区南港東1丁目2-16

ネットワークジャパン株式会社 TEL 06-6612-2008 / FAX 06-6612-2050

<http://www.network-jpn.com/> E-mail : info@network-jpn.com


(12)

F32b20XV1


安全上のご注意


お使いになる人や他人への危害、物的な損害を未然に防ぐため、必ずお守り頂きたい事項を説明します。表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。


 **警告** 人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。

 **注意** 人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。


お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。


 人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。(してはいけない禁止内容)


 人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。(実行すべき強制内容)


 人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。(気をつける内容)


警告


 **禁止** 壁の強度は少なくともテレビと壁掛金具を合わせた重量の5倍の重量に耐える強度が必要です。F32b 壁掛金具は、32V型～47V型で、総重量36kg以下の液晶等の薄型テレビを、木柱又はコンクリート製の壁面に固定するためのものです。これらの最大耐荷重以上の薄型テレビの取り付けには絶対使用しないで下さい。又、木製やコンクリート以外の(鉄骨製などの)壁面には取り付け出来ません。この指定を守らないと、薄型テレビが落下して、けがをしたり、テレビが破損する原因となります。


 工事専門業者以外は取り付け工事を行わないで下さい。専門業者以外が工事を行うと、工事の不備により落下してけがの原因になります。


 取り付け強度は、安全のため十分余裕を取って下さい。強度が不足すると落下して死亡やけがの原因になります。


 荷重に耐えられない場所には取り付けしないで下さい。強度の弱い壁や平面でなかったり垂直でない壁に取り付けると落下してけがの原因になります。


 湿気やほこりの多いところや油煙や湯気の当たる場所や屋外には取り付けしないで下さい。又、エアコンの上や下にテレビを取り付けしないで下さい。テレビに悪影響をあたえたり、火災・感電の原因になります。


 **禁止** 組み立ての手順を守り、指定の箇所はすべて確実にネジ止めして下さい。ネジ山の破損したネジや、さびたネジは絶対使わないで下さい。指定を守らないとテレビの取り付け後に破損や落下等、思わぬ事故の原因となることがあります。


 テレビの取り付けや取り外し作業は2人以上で行って下さい。テレビが落下して、けがをしたりテレビが破損する原因となることがあります。

 **禁止** 本製品には小さな部品が同梱しており、誤って飲み込むと窒息の危険性がありますので、お子様の近くにこのような部品を置かないで下さい。又、壁掛け金具の組み立ての際は、危険ですからお子様を周囲に近づけないで下さい。

 取り付け作業の際は、テレビや周辺機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。感電の原因になったり、テレビや周辺機器を破損する恐れがあります。

 組み立てる前に、すべての部品が揃っており、破損していないことを確認してください。足りない部品又は破損している部品のある場合は、ネットワークジャパン(株)に連絡して下さい。尚、破損した部品は、絶対にご使用しないで下さい。

 壁掛け金具を壁面に固定するネジは下記の部品表に記載してありますが、壁面の材質や強度によっては不適合な場合がありますので、その場合は市販の適切なネジを使って下さい。

 ネットワークジャパン(株)は、不適切な組み立てや、使用により発生したけが等の傷害や、物品の損傷に対して一切の責任を負いません。

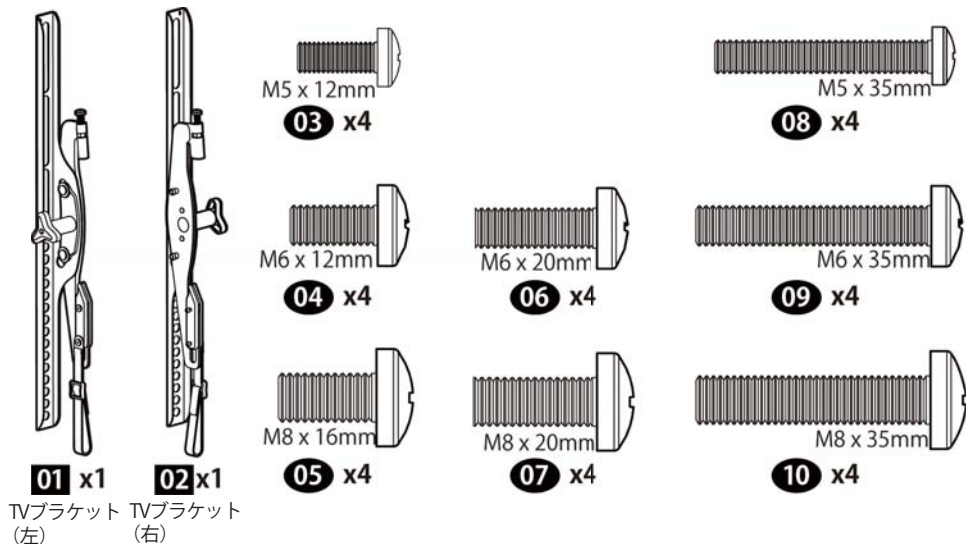
Memo

付属の部品類

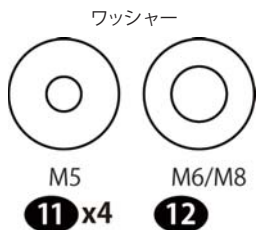
警告：本製品には小さい部品が付属しており、誤って飲み込むと窒息の危険性があります。組み立てを始める前に、部品がすべてそろっており、破損していないことをご確認ください。足りない部品または破損している部品がある場合は、ネットワークジャパン(株)までご連絡下さい。破損した部品は絶対にご使用にならないで下さい。

参考：M4、M5、M6、又はM8は直径を指し、mmは「M# X ##mm」の表記において、ネジの長さを指します。付属の部品類をすべて使用するとは限りません。

STEP 1で使用する部品 1



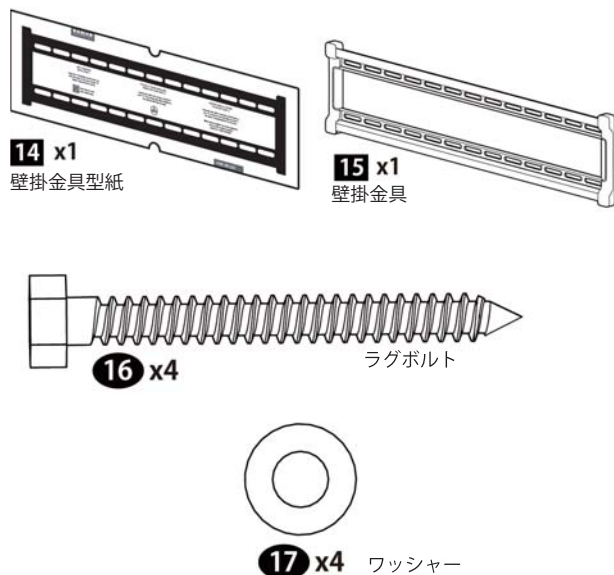
STEP 1で使用する部品 2



スペーサー(21MM)



STEP 2で使用する部品



Memo

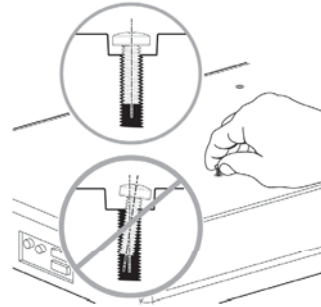
Blank lined area for notes.

Blank memo area with horizontal lines for writing.

STEP 1 テレビに取付ける部品を選択し、テレビにブラケットを取り付ける

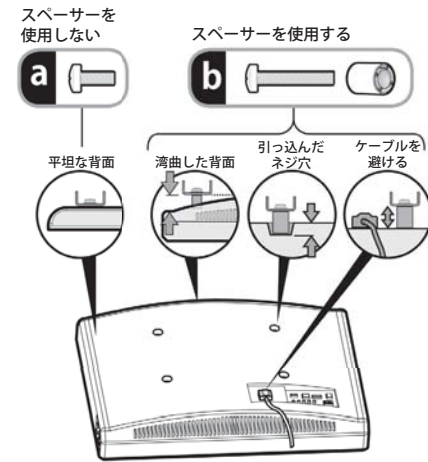
1-1 テレビ取付用ネジの口径と長さの選択

お使いのテレビのタイプによって、使用する部品が変わります。テレビの背面のネジ穴に手でネジをねじ込んで試し、正しいネジの直径 (M4、M5、M6、または M8) を選択します。



1-2 スペーサーの取付位置

壁掛金具をご使用になるテレビの背面が平坦かどうか、壁面とテレビの間にケーブル類を配置するためのスペースが必要かどうかを確認します。

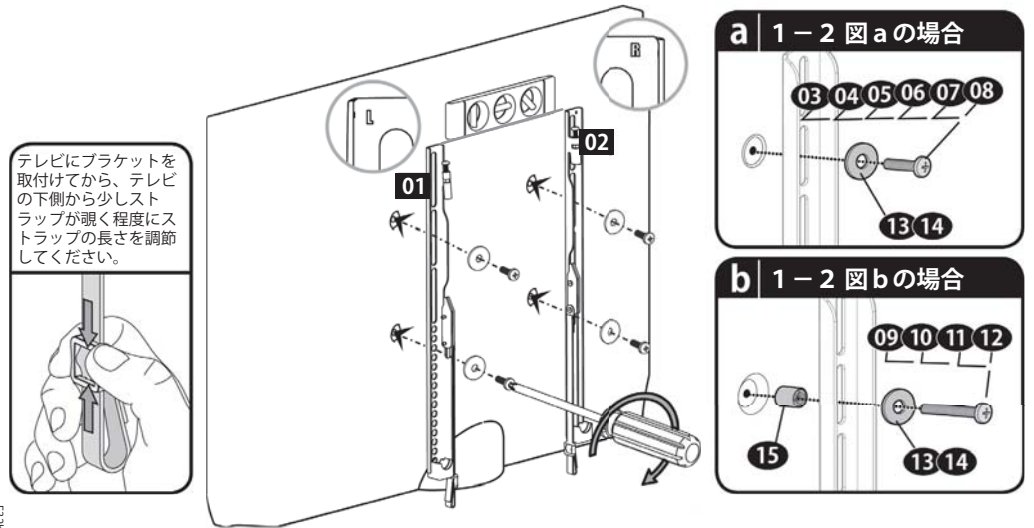


注意:
ご使用のテレビに対して、ネジやスペーサーを組み合わせて、適正なネジ山のかみ合わせを確認して下さい。首下の短いネジは、テレビを十分保持できず、首下の長すぎるネジは、テレビの内部に損傷を与える恐れがあります。

注意: ケガをしたり、壁面を破損しないように注意してください。同梱のネジ以外の長さのネジが必要な場合には、別途市販のネジを各自でご用意ください。

1-3 テレビにブラケットを取付ける

下図の様に左右のTV ブラケット [01] [02] が、テレビの背面上下の中心になるように調整ネジ止めしてください。このとき、前項 1-2 (a) もしくは (b) で選択した取付方法でネジ、ワッシャーとスペーサーを差し込んでください。



STEP 2 壁掛金具を取り付ける --- 木柱の場合

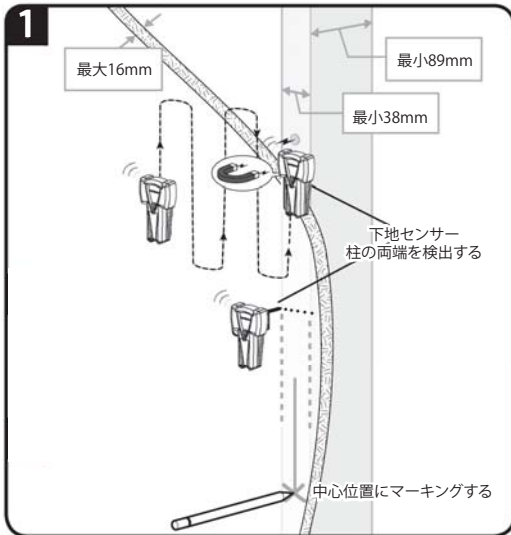
警告: 壁掛金具を取り付ける壁面は、壁掛にするテレビと壁掛金具の総重量の5倍の重量を、保持する強度が必要です。各家屋毎に壁面の構造や強度が異なりますので、工事業者様が専門的に壁面を診断の上、最適な工法を決めて施工して下さい。下記の「木柱壁」への取り付けの説明は、工事方法の一例として参考にして下さい。なお、本壁掛金具は、木柱の無い石膏ボード自体や鉄柱・鉄骨には取り付けできません。これらの取付対象外の壁面に取り付けると、テレビが落下してけがや損傷事故が発生する場合があります。

施工の条件: ★ 壁面を覆う石膏ボードや壁面パネル・壁紙等の厚みは、16 mm以下にしてください。
★ 金具を取付ける柱の寸法は、取付ける面の幅38mm奥行き89mm以上が必要です。
★ 柱の中心位置は、必ず確認してください。各家屋毎の柱の寸法は必ずしも規格のサイズではありません。

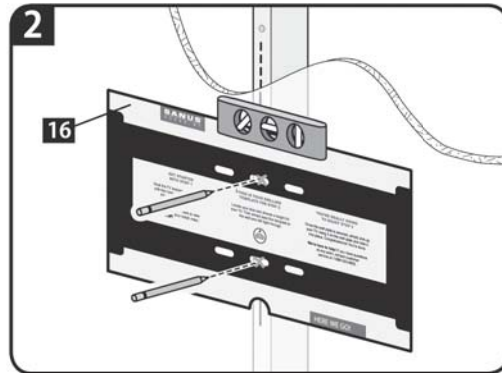
注意: 下地センサー（木柱センサー）は壁の中にある下地材をセンサーで感知して知らせるものです。

下記の1図は、下地センサーを用いた柱位置検出方法の一例です。詳細はご使用の下地センサーの取扱説明書に従って下さい。

1. 下地センサーや、千枚通しや、細い釘などを使って、下図の様に柱の位置を確認します。下地センサーを左右に動かすと、柱の端を検知するので、マーキングします。二つのマーキング（両端）から柱の中心位置にマーキングを付けます。

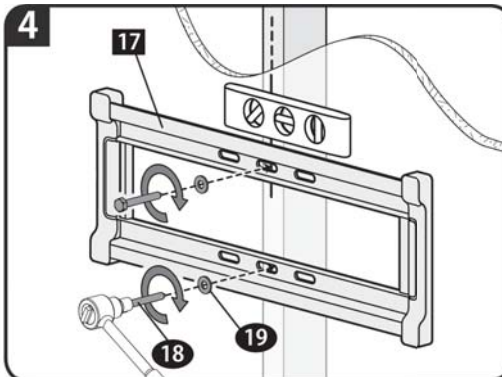
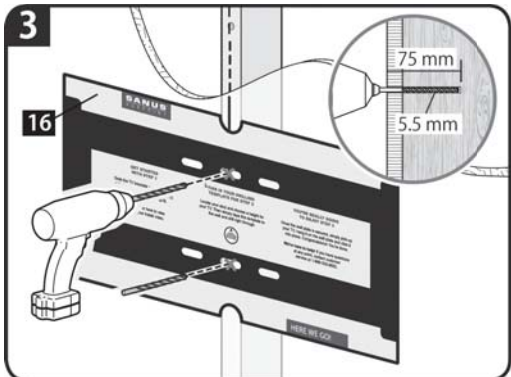


2. 壁掛金具型紙 [16] を使用し、2ヶ所の穴位置に印を付けます。このとき水準器を使用し床面と水平になるようにしてください。



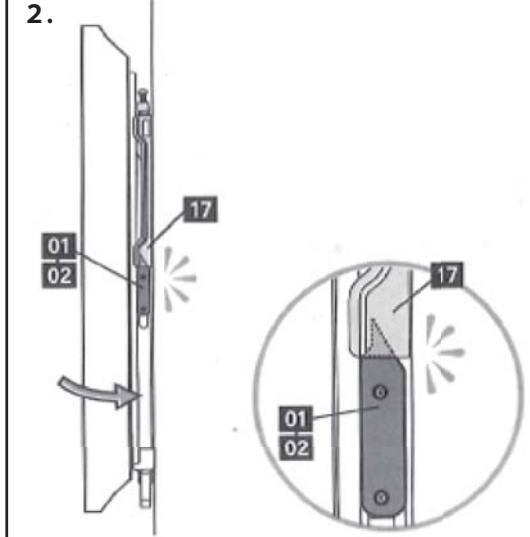
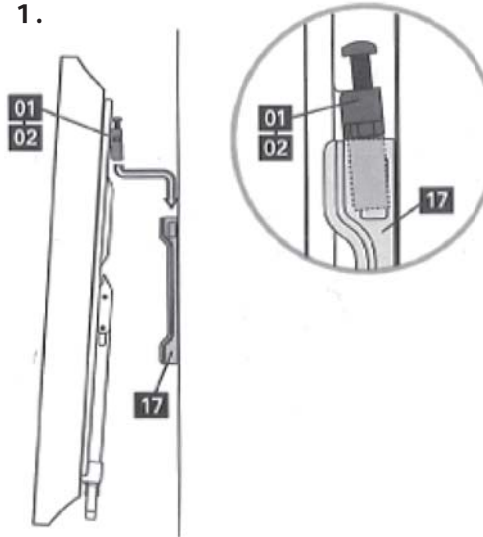
3. 下穴は、柱に 5.5mm 径のドリルを使って、深さ約 75 mm の穴を 2箇所開けます。
4. 壁掛金具 [17] の中央上下 2つのネジ穴にワッシャー [19] に通したラグボルト [18] を差し込んで、柱に取り付けます。このとき、ワッシャー [19] と壁掛金具 [17] の間に隙間がでない程度にしっかりとラグボルト [18] を締めて下さい。

注意: 十分注意してこの作業を行って下さい。不適切なラグボルト [18] の取付は、保持力を弱め、テレビをしっかりと固定できません。また、必要以上にラグボルト [18] を締めすぎると、柱や壁掛金具 [17] を損傷します。



(6)

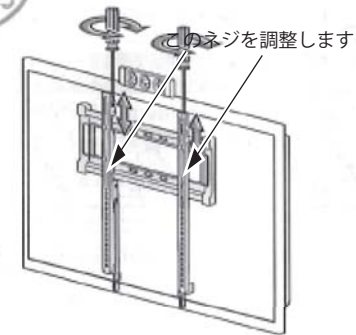
STEP 3 テレビを壁掛金具に取り付ける



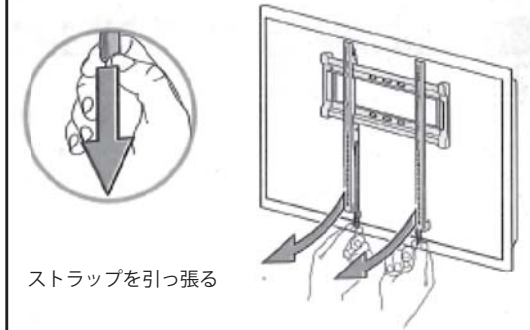
1. STEP 1でテレビに取付けた TV ブラケット [01] または [02] の上部のスリットを壁掛金具 [17] の上部に引っ掛けて取り付けます。

2. その後、TV ブラケット [01][02] の下部を壁面の方向に軽く押し付けます。各部品が所定の位置に正しく収まると、図のようにカチッという音がしてロックされます。

STEP 4 水平度の調節とテレビの取り外し方



テレビの取り外し方 **注意** 重量があります！ この作業は二人以上で行って下さい。



テレビの水平度は、必要に応じて TV ブラケット [01] または [02] の図に示した部分のネジを締め (或いは) 緩めて、調整します。

テレビを取り外すには、図のようにストラップを下方に引っ張ってロックを外し、テレビを持ち上げて壁掛金具から取り外します。

(7)